

# 10 バッゴ

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内外	1チーム2人	誰でも可	軽度

## 特 色

バッゴは、離れて設置したプラスチックボードを目掛けてビーンバックを投げる的入れゲームです。子どもからお年寄りまで、車椅子の方でも楽しめるバリアフリーなゲームで、場所を選ばず、屋内外で楽しめます。携帯性にも優れていて、設置もとても簡単です。

## 用 具

<傾斜ボード> 2枚、86cm×56cm×6cm、プラスチック製

<ビーンバック> 8個（赤色4個、青色4個）、重さ240g

<距離設定用のひも> 1本

## 競技方法

(1) それぞれのボードの足部分を起こし向かい合わせに設置します。1チーム2名（合計4名2チーム）でゲームを行います。

(2) ボード間の距離を年齢やレベルに応じて決めます。

距離の目安	・ 2m40	2～4歳
	・ 3m60	5～8歳
	・ 4m50	9～12歳
	・ 5m40	13歳以上
	・ 6m00	正式競技

(3) それぞれのチームのメンバーが2手に分かれて、どちらか任意のサイドからゲームを始めます。

(4)じゃんけんをして勝ったチームが、先攻か後攻か、または投げるポジション(自分サイドにあるボードの右側か左側かどちらから投げるか)のどちらかの権利を選択できます。じゃんけんを負けたチームは勝ったチームが選ばなかった権利を選択できます。

(5) ボードを目掛けてバックを投げることでゲームがスタートします。投げる際にスローインライン(自分側ボードの前面の延長線上)を踏み越えてはいけません。バックは各チームが交互に投げます。

- (6) それぞれのチームが4個のバッグを交互に投げます。全て投げ終わったら1ラウンドを終了し、得点を計算します。

### 得点計算方法

- ① 21点を先取したチームが勝ちとなります。  
※時間に制限があるときは11点先取にしたり、ラウンドを規定してどちらのチームが得点を取るかによって勝敗を決める方法もあります。
- ② ホールに入った場合=3点/ボードの上に乗った場合=1点
- ③ 1ラウンド毎の両チームの合計得点の差を、得点の高かったチームが取得します。
- ④ ボードに乗っている相手チームのバッグに当てて穴に入れた場合、自分のチームの得点になります。

#### 得点にならない場合

- (ア) バッグを投げるときにスローイングラインを踏み越えた場合
  - (イ) バッグがボードから落ちた場合
  - (ウ) バッグが床面に触れている場合
  - (エ) 相手チームによってボードからバッグを落とされた場合
- (7) 次のラウンドは、もう一方のサイドの人が同じようにバッグを交互に投げます。その際に、前のラウンドで得点を取得したチームが先攻で、投げるポジションは前のラウンドで負けたチームに選択権があります。
- (8) どちらかが21点取得するまで続けます。

